

■ 近年の連携実績

● 大学まちづくり地域政策形成事業

市と公益大が一体となって政策課題を検討・解決する仕組みとして、調査研究事業を平成 18 年度から実施しており、10 年間で 20 件の調査研究に取り組んでいる。

【平成 27 年度の取り組み】

(1) 酒田市における家庭教育支援に関する調査研究

～家庭教育支援に関する未就学児保護者の意識～

酒田市に居住する未就学児童がいる世帯の子育て支援や家庭教育へのニーズについてのアンケート結果を詳細分析し、施策に反映していくもの。

(2) グローバル・セミナーを通じた酒田市グローバル人材育成の仕組みづくりに関する調査研究

本市の未来を担うグローバル人材育成の仕組みを検討するため、試行的にグローバル・セミナーを開催したもの（庄内地域の高校から 57 人の生徒が参加）。

● 公務員志望学生に対する支援（公務員就活サポートセミナーの開催）

公務員を志望する学生をサポートするため、山形県庄内総合支庁と庄内 2 市 3 町が協力して、先輩公務員が仕事のやりがいなどを学生に伝えるワークショップを開催。

● 学生の街なか活動の促進

学生の街なか活動を促進するため、大学と中心市街地等を結ぶ福祉乗合バス（るんるんバス）の利用に対する支援を実施。

（学生に無料乗車券を配布。経費を大学 1/4、市 3/4 の割合で負担）

● 「コワーキングスペース アンダーバー UNDERBAR」の設置運営

COC 事業の起業家養成プロジェクトと連携し、平成 27 年 6 月に IT 起業家の育成を目指したコワーキングスペースを、公益ホール内に設置。市民の利用も好調で、IT 起業家グループと連携した取り組み等の活用が図られている。

■ 平成 28 年度から実施する新たな取り組み

● 東北公益文科大学卒業生の定住促進に向けた取り組み

公益大に入学し学生生活を酒田で過ごした若者に、そのまま酒田に定住してもらうため、卒業後酒田に居住し就業する方を対象に奨学金の返還を支援する。

（この制度により酒田への定住を選択してもらうことをねらいとするため、これから就職活動を行う平成 29 年 3 月卒業予定の学生からを対象とする）

【参考】山形県と連携した若者定着支援

学生の県（市）内回帰及び定着を促進するため、総務省、文部科学省が定める奨学金（日本学生支援機構第一種）を受ける学生を対象に、山形県と連携して、その返還に対して支援する。

● 東北公益文科大学修学制度

大学進学を選択せず、市職員として地元就職の道を選択した有為な若者に対して、その勉学意欲に応え大学進学希望の実現と市職員としての高い志を持てるように、公益大と連携し、新たに採用した市職員が大学に入学できる制度を設定。

公益の視点によるまちづくりのノウハウを地元大学で体系的に習得することにより市職員としての能力向上を図る。

● 地域と連携した人材育成の取り組み

(1) グローバル人材育成に向けて

酒田東高校は現在、公益大と連携して、国際的に活躍できる人材育成を重点的に行う高校を文部科学省が指定する「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」への採択に向けて取り組んでいるところ。

平成 27 年度に試行的に行った「グローバル・セミナー」には、酒田東高校をはじめとする市内の高校生が多数参加し、2 日間、英語漬けのプログラムを体験することができたことから、SGH への採択に向けた側面的な支援として、28 年度も継続して実施する。

(2) 教育委員会（学校教育）との連携の模索

これまで連携実績が少なかった教育委員会（学校教育）と大学との連携を探るため、「放課後学習支援」や「夏休み、宿題お手伝い教室支援」「英検プロジェクト事前講座開催」などの取り組みで試行的に連携するとともに、関係者による意見交換を行い、活動の効果や課題などの把握に努める。